

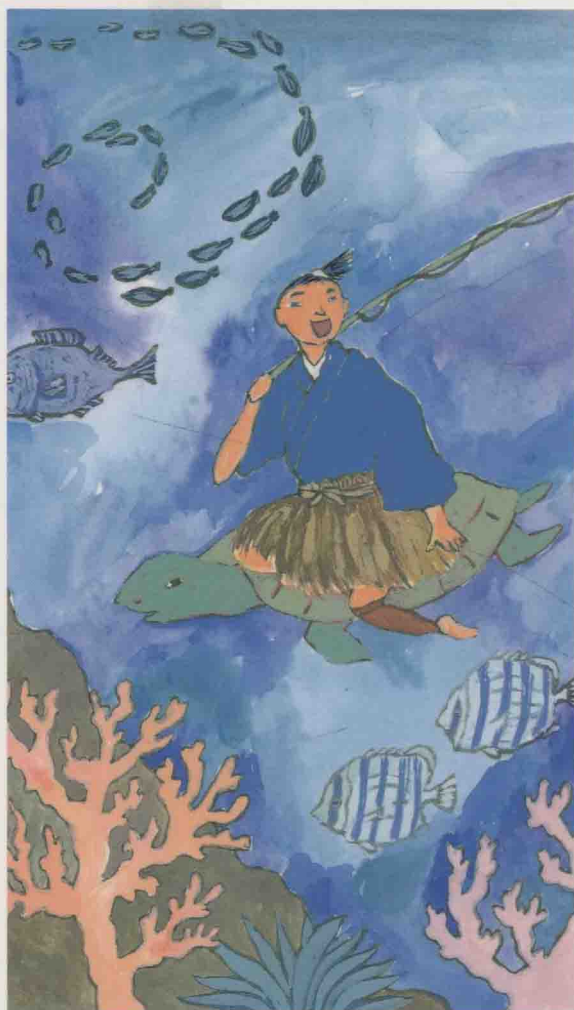
Japanese Graded Readers

レベル別
日本語多読
ライブラリー



にほんご よむ よむ 文庫

レベル 1 vol.1 4



浦島太郎

にほんご よむよむ文庫 レベル 1

うら しま た ろう
浦島太郎

再話(さいわ) : 栗野 真紀子 (あわの まきこ)
挿絵(さしえ) : 山中 桃子 (やまなか ももこ)
監修(かんしゅう) : NPO法人日本語多読研究会(にほんご たどく けんきゅうかい)

<監修者紹介>

NPO法人 日本語多読研究会 (にほんご たどく けんきゅうかい)

とうけんきゅうかい がくしゅうしゃ よ つく もくてき にほんごきょうし
当 研究会は、学習者のための「読みもの」を作ることを目的に、日本語教師が
あつ 集まって、2002年1月に発足しました。2006年9月にNPO法人になりました。
べつよ かいはつ たどく じゅうよう じっせん けんきゅう
「レベル別読みもの」を開発したり、それらを使った「多読」授業の実践・研究
をしたりしています。http://www.nihongo-yomu.jp

レベル別日本語多読ライブラリー (にほんご よむよむ文庫)

[レベル1] vol.1

浦島太郎

2006年10月10日 初版 第1刷 発行
2009年10月26日 初版 第3刷 発行

再話：栗野 真紀子 (日本語多読研究会会員・日本語教師)

作画：山中 桃子

監修：NPO法人 日本語多読研究会

ナレーション：山中 一徳

録音・編集：スタジオ グラッド

デザイン・DTP：有限会社トライアングル

発行人：天谷 修平

発行：株式会社アスク出版

〒162-8558 東京都新宿区下宮比町2-6

TEL.03-3267-6864 <http://www.ask-digital.co.jp>

印刷・製本：株式会社光邦

許可なしに転載・複製することを禁じます。

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

© NPO法人 日本語多読研究会 2006

Printed in Japan ISBN978-4-87217-624-7

にほんご よむよむ文庫 レベル 1

うら しま た ろう
浦島太郎

再話(さいわ) : 栗野 真紀子 (あわの まきこ)
挿絵(さしえ) : 山中 桃子 (やまなか ももこ)
監修(かんしゅう) : NPO法人日本語多読研究会(にほんご たどく けんきゅうかい)

「浦島太郎」は、日本の古い話です。

ここは、海の近くです。

太郎とお母さんのうちがあります。

太郎は、毎日、海へ行きます。

そして、魚をとります。





今日も、太郎は海へ行きました。

海に、子どもがたくさんいます。

子どもたちが、

棒で何かをたたきました。

亀です。





子どもたちは、棒で亀をたたきます。

「痛い！ 痛い！」

亀は泣きました。

太郎は、子どもたちに言いました。

「お金をあげましょう。」

私に、この亀をください

「本当？ いいよ」

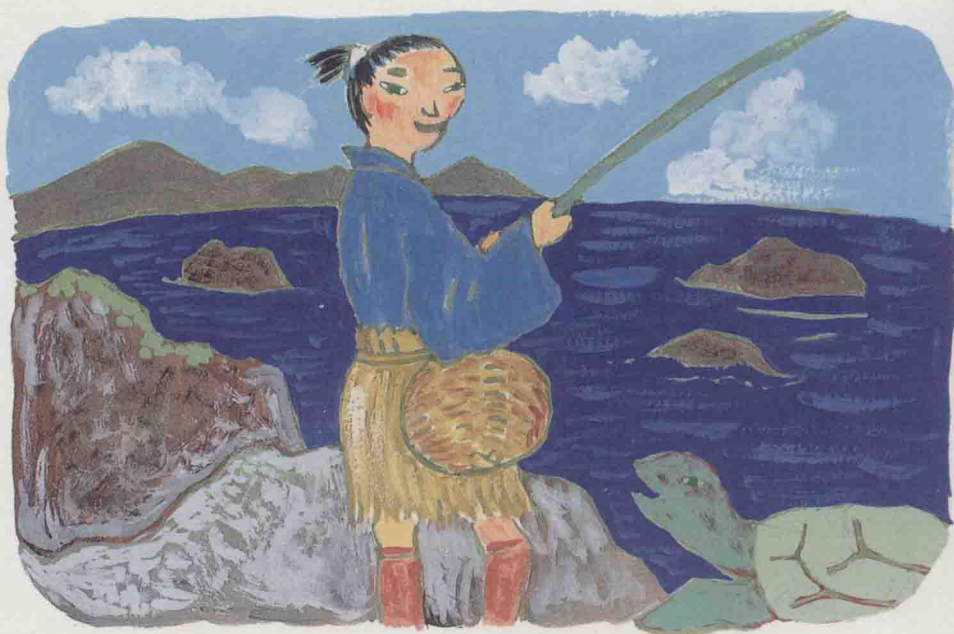
子どもたちは、亀を太郎にあげました。

「どうもありがとうございました」

かめ
亀は言いました。

そして、
うみ
海に帰りました。





それから一週間。
いっしゅうかん

太郎は、今日も海へ行きます。
たろう きょう うみ

いい天気です。
てんき

太郎は、今日も魚をとります。
たろう きょう さかな

そこに亀が来ました。
かめ き

亀が言いました。
かめ い

「あのときは、どうもありがとうございました」

ました。海の中に楽しいところ
うみ なか たの

があります。私と一緒に行きましょう。
わたし いっしょ い

さあ、どうぞ」

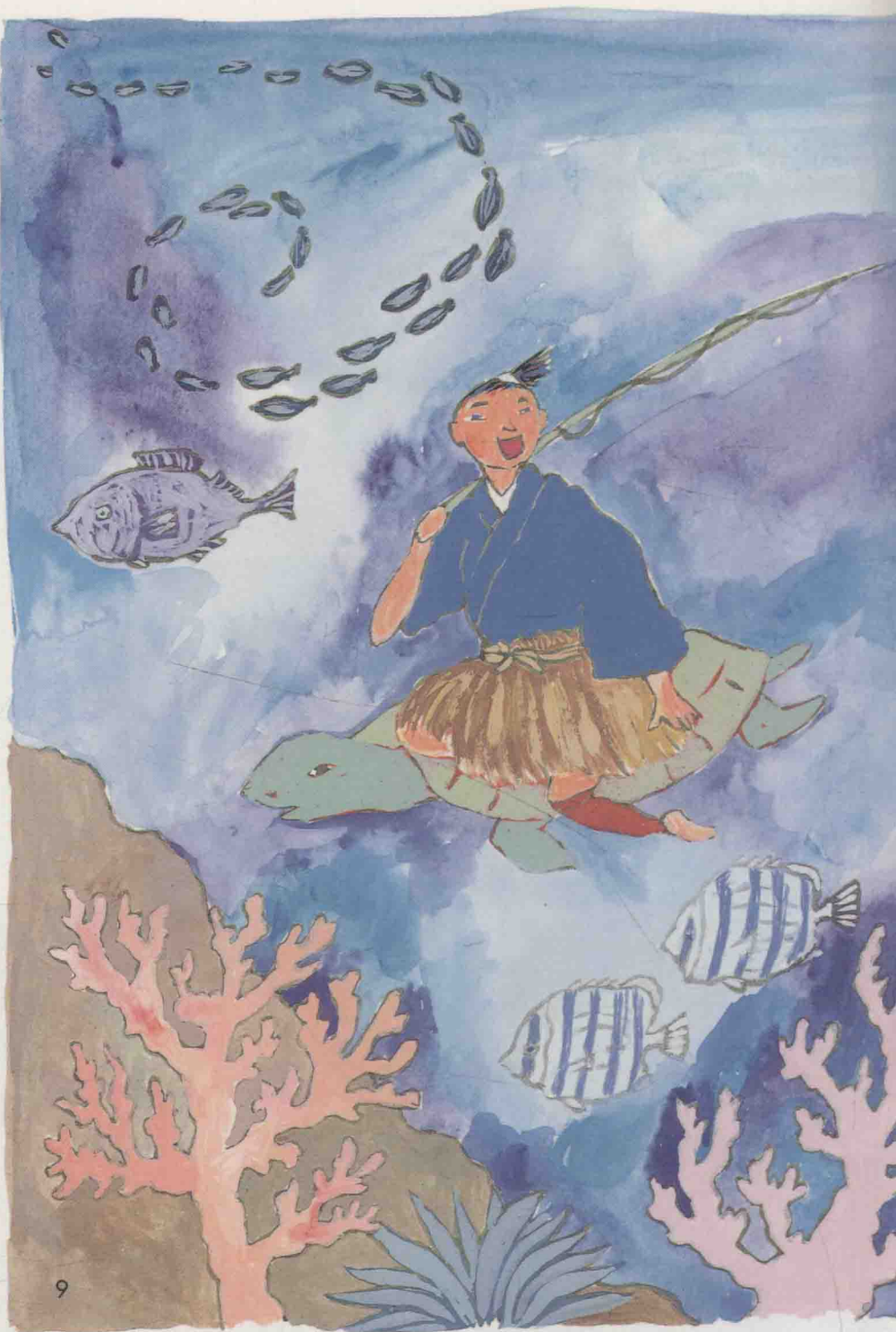
太郎は、亀に乘りました。
たろう かめ の

かめ うみ なか はい
亀は海の中に入りました。

きれいな魚がたくさんいます。

「うわあ、海の中はきれいだなあ」





かめ たろう おお
亀と太郎は、大きい城の前に来ました。

「ここは竜宮城ですよ」

かめ い
亀が言いました。

りゅうぐうじょう
竜宮城はとてもきれいです。

たろう
太郎は、

かめ いっしょ りゅうぐうじょう なか
亀と一緒に竜宮城の中へ

はい
入りました。



そこには、

とてもきれいな女おんな ひとの人がいました。

太郎たろうは、亀かめに聞ききました。

「あのきれいな女おんな ひとの人は、誰だれですか」

「乙姫おとひめさまですよ」

亀かめは答こたえました。

「あなたが太郎たろうさんですね。

さあ、こちらへどうぞ」

乙姫おとひめさまは太郎たろうに言いいました。



りゅうぐうじょう

竜宮城には、おいしい食べ物やお酒がたくさんあります。

たろう

まいにち

おとひめ

太郎は、毎日、乙姫さまと遊びました。

そして、おいしい食べ物をたくさん食べました。

おいしいお酒もたくさん飲みました。

まいにち

たの

毎日、とても楽しいです。

いっしゅうかん

にしゅうかん

いっ

げつ

に

げつ

いちねん

にねん

一週間、二週間……、一か月、二か月……、一年、二年……。







ある日、乙姫さまが言いました。

「太郎さん、元気がありませんね。」

あまり食べませんね。どうしましたか」

太郎は言いました。

「乙姫さま、私は、もう、

うちへ帰ります」

「えっ、どうしてですか」

乙姫さまは言いました。

「うちに、母が一人ですから」

太郎は言いました。